

県医労新聞

2009年1月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

佐々木 茂 喜

毎月1回発行 1823号(月刊38号)



「初雪」四谷正男（盛岡「厨川の四季(Ⅱ)」）

目次

一頁	新春インタビュー
二頁	新年あいさつ
三頁	花巻厚生支部 お別れ決起集会 精神病院労組交流集会
四頁	中央支部医療懇談会 遠野支部医療懇談会 盛精従組定期大会
五―六頁	女性部ニュース
七頁	看護部ニュース
八頁	青年部ニュース
九頁	県議会請願採択 一・二四県民集会
十頁	沼宮内アンケート
裏表紙	新春川柳 新春懸賞パズル

患者さんの心に共感できる 看護師になりたいです。

千厩支部 ○ ○ ○ ○ さん



患者さんが退院して、元気な姿をみせてくれた時、看護師になって良かったと感じます。

医療局に入局し、千厩病院に勤めて3年、入局前も含め看護師経験5年目の○○○（○○○○○○）さん。11月に入籍を済ませたばかりの新婚さんです。仕事のこと、プライベートのこと、来年の抱負などインタビューさせていただきました。

きっかけは インフルエンザ での病院受診



中学生の時にインフルエンザで大東病院を受診したことがあり、担当してくれたのが男性の看護師さんでした。その時、こんな職業もあるんだなと医療関係の仕事に興味を持ちました。高校で進路を決める時、姉がST（言語聴覚士）

の資格をとるために進学していたこともあり、自然と医療の道を考えました。その中で看護師という職業を選んだのは、やはり、中学の時、優しくしてくれた看護師さんのことが、頭にあったからだと思います。



があったので、医療局への入局を決意しました。

ディズニーシー ☆おすすめ スポット☆



昼とは違う落ち着いた雰囲気。夜のディズニーシーが好きです。外国にいるような気分になれる、現実逃避するにはもってこいです。はじめは彼女と二人で行ってたんですが、

数年前からグループで行くようになって、新しい発見もあり、楽しみ方が増えました。シーにあるレストラン「マゼランズ」には秘密の扉があり、その奥には個室（ワインセラ）が！予約すれば、そ

こで食事ができます。他にも夜のセンターオブジアースに乗る機会があったら、ぜひ落ちる時に左右を見ることをオススメします。パークの夜景を堪能できます。ただし、コンタクトの人は目がものすごく乾くのでご注意ください！

スキー検定1級 もってます



スキーを本格的に始めたのは就職してからです。看護師という職業柄、なかなか友達と休みが合わず、暇つぶしに平日ガラガラのに滑っていました。休みの度に滑りに行っていたら、他のお客さんとも顔見知りになり、いつの間にか仲良く…。実は先輩のお父さんでした。最近のスキー仲間には年配の方が多い気がします。おかげさまで滑り方を教えてもらい、今ではスキー検定1級をゲットしています。

将来は

Sさんのような
看護師に…



自分が看護師を目指すきっかけになった看護師のSさんとは、学生時代に病院でアルバイトをした時に再会しました。スタッフとしての自分にも優しくしていただきました。

将来は、Sさんのような看護師になりたいです。どんな時も患者さんの心に共感できる、患者さんが安心して話せる、安心して処置を受けられるような雰囲気がつくれるようになれたらいいと思います。かつて自分が感じた思いを今度は患者さんに感じてもらえたら嬉しいです。そして、いつかSさんと同じチームで働くことが夢です。怒られたらへこむので、それまでに一人前の看護師になっておきたいと思っています。

来年の抱負は、結婚式を無事にあげることです。先輩や友達に聞くと準備に三ヶ月以上かかるそうなので、今から準備を始めていきたいです。

明けましておめでとうございます。1年間、大変お疲れ様でした。

今年は、丑（うし）年です。牛は、どちらかというと機敏さに欠け、のんびりしているように思われていますが、実は、一旦怒らせたら大変。馬力があつて、猪突猛進、勇猛果敢、撤回撤尾という面もあります。

丑年の今年の一字を私は、「換」にします。転換、変換の年になりそうな予感が。その兆候は既に現れています。医師の絶対数不足を政府・厚生労働省が4半世紀ぶりに認め、医師養成数増に踏み切ったこと。また、2003年以降の毎年2、200億円カットの見直し論議。後期高齢者医療制度の参議院で

の廃止決議。そして、昨年末、岩手県議会において、県立「無床」診療所はダメ！の議会請願が採択されたこと。

県・医療局
は、職員、患者さんの切

実な願いと要求には耳を貸さず、また、議会は、決議に反し、経営効率優先の県立病院縮小・再編計画を

強行しようとしています。診療所

化で「入院ベッド」がなくなる地域では、市・町あげの反対運動が湧き起こっています。住民・県民の声

換える！

中央執行委員長
佐々木 茂 喜

に真摯に耳を傾け、今一度、医療行政の基本に戻って、必要な地域医療を確保する計画を策定すべきです。「19床から730床

まで、県立医療機関が県

ある岩手」「命輝く岩手」は、大きな魅力となり、多くの医師の心には訴えるのではないのでしょうか。

また、手当をバツサリ削り、やる気を無くさせ、超変則勤務導入で職員や家族の身も心もズタズタにするようなやり方で県営医療

たします。本年もよろしくお願

の危機的状況をしのぐというのは、間違いです。高齢者いじめ、弱い者いじめの政治・行政は、根本から「換」えるしかないと思います。今年は、間違いなく「総選挙」があります。福祉国家への転換の年にしようではありませんか。

少しでも明るく、働きやすい・働き続けられる職場、安心して暮らしていける社会の実現をめざして、元気いっぱい活動しましょう。また、「県下にあまねく医療の均てんを」という岩手県立病院の創業の精神を、今一度、しっかり受け止め、住民や患者さんと共に、県立病院を守り、充実・強化するための運動を行っていきましょう。

本年もよろしくお願

思い出がいっぱい

花巻厚生支部お別れ総決起集会



1976.4.20
ストライキに120名が
参加



11月28日、「花巻厚生支部お別れ総決起集会」が、ホテル・グランシエールで開催されました。

〇〇〇〇支部長が、結成以来の長い闘いの歴史、思い出などに触れ挨拶しました。歴代の支部役員などが出席し、写真集をめくって

思い出話に興じたり、近況など報告しあいながら、楽しいひとときを過ごしていました。

来年4月から北上支部と一緒にありますが、「支部旗」をたたむ寂しさもちょっぴり漂っていました。



1973.7.21
平和友好祭

1973.4.27
県医労史上最大2時間ストを決行

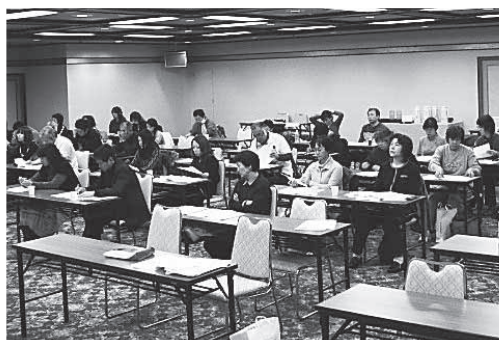


精神医療の充実をめざして頑張ろう！

11月29日～30日、花巻市・ホテル千秋閣で日本医労連東北地方協第9回精神科病院労組学習交流集会が51名（県医労から5名）の参加で開催されました。

日本医労連精神部会の氏家部会長は基調講演で、増加・多様化する精神疾患の中で、専門病棟化や職員を増員して看護基準の類上げをしていくことが病院の増収につながり、精神病院として生き残っていける策であることを示唆しました。

また、記念映画の上映では、きょうされん（旧、共同作業所全国連絡会）と共催し、きょうされん30周年記念映画「ふるさとをください」の上映を行いました。地域に共同作業所をつくるための、その地域住民の理解を得る難しさ、障がいのある人と地域住民の協力



ある人と地域住民の協力の必要性を面白く、感動的に表現していました。

討論では、医師・看護師の不足、その中で多忙な業務をこなしているのに、賃上げ・一時金の改善は難しいという状況等が出されました。最後に、病院の質を上げ、患者・職員の待遇改善につなげていこうと意思統一し、閉会しました。

中央支部で初の医療懇談会を開催 患者サービスの向上を！

12月2日、初めての中央支部主催・医療懇談会が盛岡市「上田公民会」で、開催され、近隣住民など29名が参加しました。

○。支部長のあいさつ、○。書記長の職場報告に続いて、本部の佐々木委員長が、公立病院改革ガイドラインの概要について説明し



ました。

懇談では、「9時の予約なのに診察は12時」「イスが足りなくて座れない」など、待ち時間に対する不満が多く出され、ある参加者から携帯電話で待ち時間がわかるシステムを導入し、成果をあげている病院が紹介されました。

また、「子どもを連れていても受診できるようにして欲しい」「患者が看護師と補助者の区別がつくようにして欲しい」などサービスの向上を求める声が寄せられました。

支部では、今回出された意見をまとめ、病院当局に伝えることとし、閉会しました。

地元県議、市議も参加 遠野支部医療懇談会

地域医療懇談会を12月6日(土)「あえりあ遠野」を会場に開催しました。

川野目亭南天さんの落語で多いに笑ってもらった後、「公立病院『改革』ガイドラインとは」と題して、佐々木委員長が講演。その後参加者との懇談になり、4名の方から改革ガイドラインの疑問と「計画」(案)に対する反対意見が出されました。懇談会には、県議会議員・市議会議員10名など合計45名が出席しました。



楽しい落語で、会場は笑顔に

盛精従組第51回定期大会 今後は就労支援に力を

12月9日、盛岡精神病院従業員組合第51回定期大会が、県民会館を会場に開催されました。

3年半に及ぶ闘いで、退職金の全額支払いや中

央労働委員会での不当労働行為救済命令などをかちとった成果を確認し、引き続き、①国民医療・福祉の充実、②労働者の生活と権利を守る、③精神科医療の充

実、④争議支援、⑤組合員で未就労の者の就労支援など、当面組合を存続させたかについていくことを確認しました。

12月19日に「盛精闘争報告集会」を開催し、これまでの闘いの報告と支援に対するお礼を述べる場とすることも確認しました。

笑顔あふれる1年に

女性部の皆さん、昨年1年間の女性部活動へのご協力、ありがとうございます。

私たち女性部は健康で働く権利を持っています。

いま、時差勤務5時間の拡大や、二交代勤務の導入が提案されています。

これは、我々の諸先輩が勝ち取り、守ってきたニッパチを根本より崩すもので、到底容認できるものではありません。また、私たちが職業人としてだけでなく、女性として人生を生きていく上で、これ以上の労働条件の切り下げは我慢できません。女性部の皆さんとともにこの暴挙に立ち向かい、提案を撤回させたいと思います。

また、今年中には50周年記念誌を皆様のお手元にとどけることができると思いますし、女性部ならではの楽しい企画も行いたいと思います。今年もまた、女性部活動にご参加下さい。

今年一年、平和で、健康で、笑顔あふれる一年でありますように。

女性部長 ○○○○



12.8 赤紙配布行動

愛する人を二度と戦場に送らない

「今日は太平洋戦争開戦の日です」

師走の12月8日、買い物やお昼休みでにぎわう盛岡市肴町商店街で、赤紙配布行動が行われました。行動には岩手県母親大会連絡会をはじめ11団体から35名が参加（県医労からは本部女性部役員7名が参加）。

「この赤紙1枚で、愛する人が戦場に送られていきました。二度とこのような悲しいことがないように」と訴えながら、500枚の赤紙を配り、憲法9条を守る署名を約180筆集めました。



（上）署名をもらう本部女性部役員
（左）横断幕でアピール

第34回 女性部ブロック集会

中部

ナチュラル・ヨガ・ピラティス

息を吐きながら、身体をグーッと伸ばして……。アレ？こんなに身体硬かったっけ？

11月8日、中部ブロックは「みどりの郷」（金ヶ崎町）を会場に、リラックス・ヨガと美味しい昼食、そして温

泉で心も身体もリラックスさせました。

手軽にできる、肩こり、冷え性に効くヨガも教えてもらい、これからの寒い季節に活用できそうです。

心が癒され、血液も浄化されるというナチュラル・ヨ

ガ。普段意識しない呼吸や筋肉に耳を傾けながら、ゆっくりと心と身体をほぐしました。

支部交流では、公的病院改革ガイドラインや時差勤務、7対1看護、電子カルテ、超勤など、他支部の状況や職場の不安が出され、なんでも話し合える場の大切さを感じました。

集会には20代・30代の若い組合員もたくさん参加し、家族も含め5支部28名が参加しました。



ゆっくりと心と身体をほぐしました。

南部

フーセンでクリスマス

「風船でサンタとツリーをつくります」。

手品のように、長い風船をクルクルツとねじって動物などを作るマジックバルーン。

今回は、キリンとサンタクロース、ツリーを作りました。風船が割れるような気が

して、最初はこわごわ。加減がわかってくると、だんだん大胆に扱えるようになりました。

参加者からは、「大人になると風船に触れる機会も無くなり、懐かしい思いです」「童心にかえりました」「病院のクリスマスの飾りにしたら、患者さんに喜ばれる

かも」「5月のメーデーにも使えるのでは」「子どもを連れての参加は集まりやすい」などの感想が寄せられました。

また、交流では各支部の状況を知る中で、これから職場をどうしたらよいかを



完成品（キリン・サンタ・ツリー）



キリンができました。

考える良い機会になりました。この日は、家族を含め5支部・本部43名が参加し、親子で楽しみました。

時差勤務拡大と 二交代勤務導入はやめて!!

～第5回 看護部会～



今回は2月24日
県民会館です

時差勤務導入 ちよっと待って!!

支部交流では、夜勤の安全を守るため、時差勤務を導入する雰囲気は現場の中にあり、導入している病棟が次々出ていくとの報告がありました。

時差勤務を導入したところでは、早出の人はかなり緊張を強いられると実感しており、日勤人数が少なくなるため、日勤業務は増加するという矛盾も出てきました。夜勤交代勤務の他に

12月2日、第5回看護部会が水産会館でおこなわれ、7支部、本部11名が参加しました。会議では、11・13対政府交渉の中身を学習すると共に、時差勤務拡大も含め、職場の状況を出し合いました。

さらに不規則な勤務では、わたしたちの健康を守ることができません。安易な時差勤務の導入は危険です。

機能評価業務は 超勤対象です。

また、機能評価が終わった病院からの、「夜中に帰宅していたが、超過勤務は書けなかった」という報告に一同、啞然。「機能評価は病院の業務なのだから、当然超過勤務の対象だ」とたくさんさんの声があがりました。これから機能評価を受ける皆さん、超過勤務は堂々と書きましょう。

その他にも、厳しい職場の実態が次々報告され、時差勤務拡大、二交代導入阻止で、今後も活動していく事としました。

長野実行委員会奮闘!! 第21回看護講座in長野

第21回看護講座が10月25、26日の2日間、長野市で行われ、延べ398名、県医労からは3名が参加しました。

第1講座は、陣田泰子氏（聖マリアンナ医科大学病院副院長）の「看護の未来について」。

第2講座は、吉田太郎氏（長野県農業大学校教授）の「キューバの医療について」。なぜ世界がキューバの医療を手本にするのかを分析し、その背景には充実した医療・社会保障費があると話しました。

第3講座は「薬害肝炎問題」と題して原告団の桑田智子氏から。5年前、大阪で初の実名提訴をし、救済法制定に至るまでの5年間のたたかいを報告



佐久病院労組・組合員による演劇「保険証」

しました。最後の第4講義は「介護の看護を考える」として高木和美氏（岐阜大学地域科学部教授）。

今回の看護講座では、長野厚生連佐久病院労組の皆さんが、若い嫁が保険証がないために病院にかかれず、亡くなってしまおうという演劇を準備し披露するなど地元実行委員会の奮闘が目立つ集会でした。

採算重視より人命尊重を！ 県議会で無床化反対請願採択！



県議会請願

6地域で 県議会請願提出

11月17日出された県・医療局からの「新しい計画案」は、5診療センターの無床化と沼宮内病院の無床化というものでした。この住民無視の計画に、首長や住民から反発が起こりました。

これに対し県医労では、「地域医療の充実・県民の命を守る会」を自治労連、いわて労連、岩手医労連と

協同で結成し活動を開始しています。

12月4日の県議会請願をめざし、それぞれの地域で、住民による地域医療を守る「会」が結成され、準備をしてきました。お互いの活動を情報提供し、請願が6地域全てで、できるよう協力しました。12月3日は住田、12月4日は残り5地域全てで無事請願が行われました。

共同会見で これからが本番

12月8日の環境福祉常任委員会での6つの請願が採択され、12月10日の県議会本会議で地域住民約140名が傍聴している中、6市町村の無床化反対の請願が採択されました。知事与党で最大党派である民主党・県民会議からも5人が賛成に回り、賛成31、反

対12となり、県議会でも今回の無床化計画が非常に乱暴な手順・内容であることが、明らかにになりました。請願採択後の地域住民団体との合同記者会見では、各団体の代表者が感想や思いを表明しました。これから一層、粘り強い闘いが求められます。

地域医療を守れ！いのち輝くいわてを！県民集会

日時：2009年1月24日 14:00～

場所：岩手教育会館

達曾知事は請願採択後も計画の撤回はしないと明言しています。この知事の暴走に対し、住民、県民、組合員が、一丸となる運動が必要です。

「地域医療を守れ！いのち輝く岩手を！県民集会」仮称を予定しています。多くの組合員の皆さんの集会への結集で、大会を成功させ、無床化を止めましょう！



共同記者会見

2010年4月から無床診療所に!?

沼宮内病院に関するアンケート

11月実施 に寄せられた住民の声



11月17日、「県立病院の新しい経営計画(案)」が公表されました。この「計画(案)」で2010年度から無床診療所にされる予定の県立沼宮内病院について、住民アンケートを実施しました。現在までに約300名の住民のみなさんから回答をいただいています。「無床化されたら困る」と回答した人は全体の97.3%でした。

アンケートに寄せられた住民のみなさんの切実な声を一部紹介します。

公的病院の役割は、全県民の健康、福祉、医療を完全に保障することにある。独立採算性で行う性質のものではない。

山間地域に住んでいるため、沼宮内病院までも30分かかる。これ以上、遠くなると大変です。

高齢者が増え、入院が必要となった時、ベッドがなければ、本人も家族も大変。

年齢とともに体調や病気に対する不安が高まっているのに、無床化はひどすぎる!

町内に入院できる病院がなくなる。町内だけでなく、隣接する地域の方も困る。

私も現在お世話になっておりますし、何よりも県立という信頼が大きな力だと思います。

盛岡までの入院となると、交通の面から出費も多くなる。老人家庭だと行くことすらできない。

近場に病院がなくなると言うことは信じられない!!本当に本当に先行き困ります。

この地域にとって、どんな存在であるべきか再認識していただきたい。そしてもっと都市部の病院と連携を取り、うまくベッドが空きにならないように運用してほしい。

県立病院は住民の財産!
みんなで守ろう
沼宮内病院!



職場川柳

- 丑年の 朝一番は 初モ〜で (牛飼い)
- 支持率は 毎日下がって 氷点下 (氣象予報士)
- 嘘じゃない 私は純粹 黒毛和牛 (大和撫子)
- 議会無視 暴走続ける 達増知事 (傍聴者)
- 無駄止めて 命守れと 大合唱 (医療人)



懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つの間違い箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で20名の組合員に記念品を送ります。送り先は〒020-0023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は1月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つぶやき」



2009年新春クイズ まちがいは7つ



(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合もありますので、匿名希望の場合には、その旨を書いて下さい(ペンネーム可)。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入もお忘れなく!

1月の予定

- 9日(金) いわて労連・春闘共闘会議合同旗開き
- 15日(木) 岩手医労連旗開き
- 17日(土)~18日(日)
青年部スキー・スノーボード交流会(安比高原)
- 23日(金) 情勢学習会、
県医労旗開き(ホテル紫苑)
- 23日(金)~24日(土)
第141回中央委員会(ホテル紫苑)
- 24日(土) 県民の命を守る県民集会(教育会館)
- 31日(土) 岩手医労連中央委員会

2月の予定

- 7日(土)~8日(日)
東北地方協春闘討論集会(松島)
- 13日(金) 岩手医労連精神部会
- 18日(水) 拡大闘争委員会(エスポワールいわて)
- 21日(土) 川口さんを偲ぶ会
- 21日(土)~22日(日)
医労連青年部ウインターアクト
- 28日(土) 岩手医労連女性労幼学校(国保会館)